

自宅・家族の災害への備えを確認しよう



災害はいつ発生するか分かりません。寝ているとき、出かけているときなど予期せぬ時に発生発生するかもしれません。
災害を想定した生活の備えが大切です。
自分の命を守ることが、ひとの命を守ることにつながります。

←ふじさわ防災ナビ より

9月1日は防災の日です。ご自宅やご家族の災害への備えはできていますか。この日の前後に、「広報ふじさわ 8/25」や新聞・雑誌・TVなどが、防災特集などで、**災害への備え**のチェックを呼びかけています。もう一度、ご自宅の**防災グッズ**や**食料・飲料水の備蓄**、**避難場所**などをチェックしましょう。（裏面に続く）

片瀬山防災訓練のお知らせ

片瀬山自治会協議会・片瀬山防災会は今年も、防災訓練を計画しています。

- ・日時：2022年11月20日（日）10：00 （予定）
- ・場所：片瀬中学校 アリーナ・校庭

大地震震度体験、濃煙体験、防災グッズ、消火器の使用法など準備中です。新型コロナウイルス感染症対策を徹底します。

皆様のご参加をお願いします！！

防災訓練は災害時に命を守る助けになります



表面の続き **災害への備えはできていますか**

災害は大地震・津波だけでなく、風水害、崖崩壊、火山大雪などいろいろあります。すべてに備えることはできなくとも、それぞれが命を守る備えを怠らないように努めましょう。

皆さんに配布された「ふじさわ防災ナビ」「広報ふじさわ」を参照して作成しました。防災ナビがない方、紛失された方は片瀬市民センターで入手できます。

<広報ふじさわ> & <ふじさわ防災ナビ> から

日頃からできる災害への備え

ふじさわ防災ナビP14～を見てね!

- 食料備蓄とローリングストック
- 飲料水と簡易トイレの備蓄
- 必需品! 非常用持ち出し袋
- あったら便利! 防災グッズ
- それぞれの立場で考える避難の必需品
 - 女性視点 □高齢者視点
(生理用品、薬、お薬手帳など)
 - パパ・ママ視点(紙おむつ、ミルク等)
- 家の中や周辺でできること
 - 家具の転倒防止や部屋のかたづけ
 - 避難路・避難所の確認、家族の話し合
 - 買い物、散歩などの出先で、通学、通勤の途中や出先で災害に遭遇した時どうするか

◎ここで「質問です」

大地震発生、大津波警報が発令→片瀬山には津波は来ないと思われ、でも家の中の家具等が散乱しメチャクチャで生活すなわち「在宅避難」ができない。揺れは収まりました。あなたはどうしますか?

(回答例) 自治会の決めた一時避難場所へ行き自治会の人にその旨告げて片瀬中学校避難場所に避難します。

※自治会の一時避難場所: 1・2丁目北公園、3丁目東公園、4丁目西公園、5丁目南公園

災害は、地震だけではなく、大雨による災害がそこかしこで発生しています。突然の豪雨で、過去に経験したことのない雨量で雨が降る。出先で水害に出会うかも。新型コロナウイルスの脅威が収まらないなかでも、災害への備えを忘れずに!



片瀬山防災会

長期保存可能な食品(レトルト、缶詰など)を家族の人数分×最低3日分、できれば7日分ストックしよう。



被災時、自宅に留まり生活する場合は、指定避難所で「在宅被災者」の登録をしよう。指定避難所で食料や物資を受け取ることができるし、いろいろな情報も収集できるんだ。



避難の必需品はご家庭や個人によって異なります。

日頃から、切らしてはいけないもの、ないと生活に困るものをチェックしておきましょう。

入歯、下着などもチェックの対象に